

宇部市立図書館リニューアル基本計画

【概要版】

第1章 宇部市立図書館リニューアル基本計画について

計画策定の目的と位置付け

令和2年(2020年)度に策定した「宇部市立図書館リニューアル基本構想」(以下、「基本構想」という。)に基づき、時代や市民生活の実態に即した「読むことによって知る、学ぶ、楽しむ」といった広い意味での新しい「読書」観を実現するために、今後どのような図書館を目指すべきかを整理し、具体的なリニューアル方針を決定することを目的として策定します。

本基本計画における整備については、老朽化し改修、修繕等が必要な設備や、図書館サービスの向上につながる機能アップを柱とし、長寿命化に向けた大規模な改修等については、築45年経過時に検討することとします。

策定の過程

| | |
|---------------------------|---|
| リニューアル市民委員会 | ・3回の委員会開催にて、リニューアルに向けた具体的な課題や提案について協議 |
| 高等教育機関の図書館視察 および意見交換 | ・市内の高等教育機関における学校図書館・大学図書館の視察・学生や担当者との意見交換会を実施 |
| 移動図書館車等による イベント出展の実証実験 | ・うべの里アートフェスタと連携したイベント出展 実施場所:アクトビレッジおの、楠こもれびの郷 |
| 機能整備の実況調査 | ・営繕課職員立ち会いのもと、図書館機能・設備の現況調査を実施 |

第2章 リニューアルのサービス方針

第1章における基本構想とこのたびの検討内容を踏まえ、リニューアルに向けた具体的なサービス方針を整理します。

1. 「知りたい」「学びたい」を支える情報収集・発信拠点

- (1) 市民生活を支える図書館資料の拡充・周知
- (2) 多様な学びのあり方を支える学習スペースの拡充
- (3) 資料と人とまちをつなぐレファレンスサービスの拡充

2. ひとやまちとの新たな交流と創造を生み出す場

- (1) 文化・社会教育施設と連携した地域情報の発信の拡充
- (2) 基幹産業を支える高専・大学・企業等と連携した地域ビジネス支援の充実

3. 子どもから大人まで誰もが自分らしさを表現できる居場所

- (1) 飲食可能な交流スペース・レストスペースの設置
- (2) ふるさとへの愛着と誇りを持てる郷土資料の充実・利活用
- (3) 美術・彫刻を核とするアート・芸術資料の充実・利活用

4. これからのまちづくりを共に考える「現代版・宇部方式」の実践

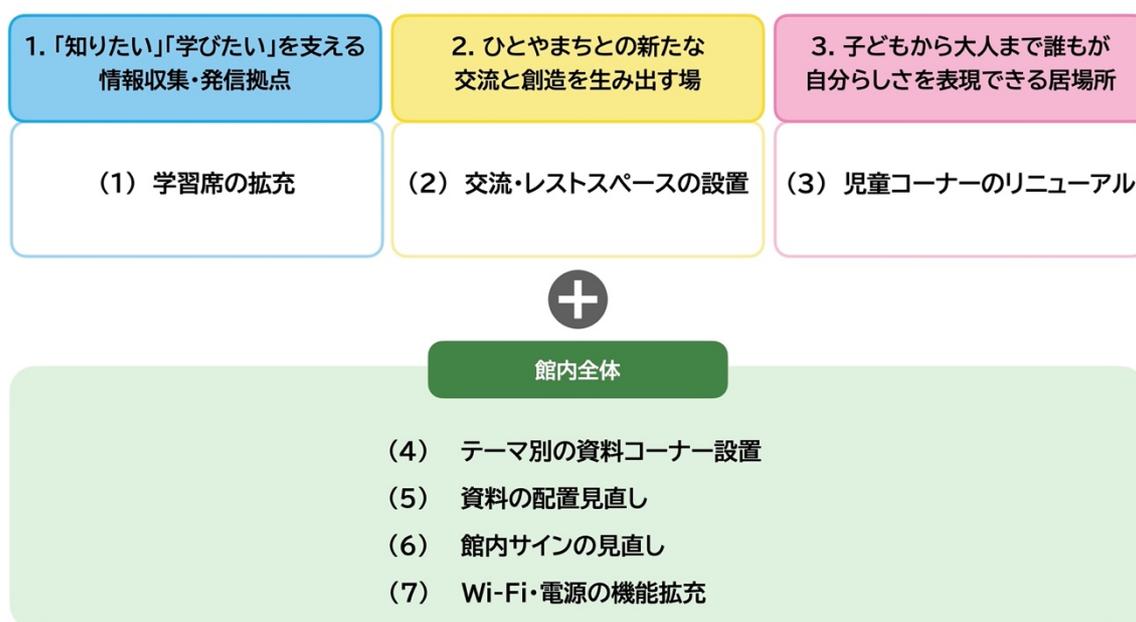
- (1) 図書館を支援する市民団体「宇部ライブラリーラボ」との連携
- (2) 市民とともに企画・実施・運営が行える場づくり・支援体制の整備
- (3) 次世代を担う人材を見守り寄り添う図書館ネットワークの強化

第3章 リニューアルの事業方針

第1章における市民委員会等での検討内容や現況調査を受けた第2章のサービス方針を踏まえ、主なりニューアルの事業方針を整理します。

1 主なりニューアル項目

◆ サービス方針の実現に必要ななりニューアル項目



◆ 改修・修繕が必要な主なりニューアル項目

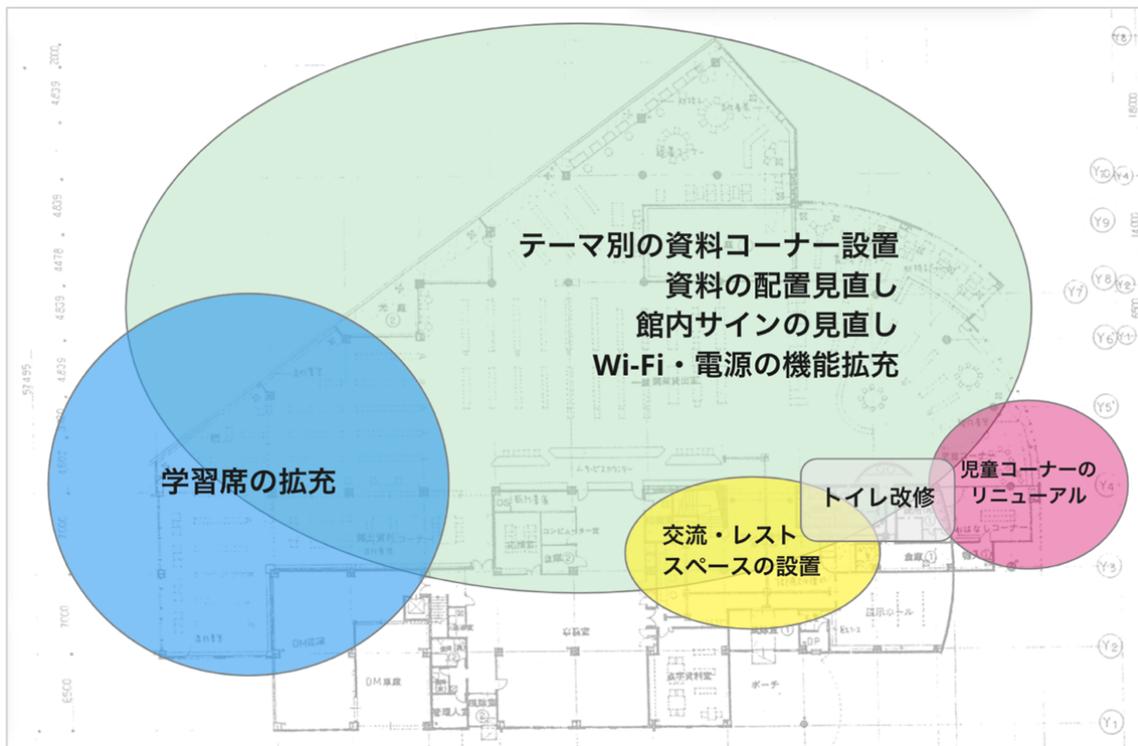
| 項目 | 目的 | 改修・修繕方針 |
|------------------|-------------------------------------|-------------------------------|
| 空調設備 | 収蔵資料の適切な保管・管理 快適で居心地のよい環境づくり | 機器更新 |
| 照明設備 | 読書や学習に適した照度の確保 明るく解放的な環境づくり | LED への取替 |
| トイレ (1階・2階) | 誰でも安心して使えるトイレ環境 | 洋式トイレ・多目的トイレの増設 導線の再構成(1階) |
| 館内設備 | 落ち着いて読書や学習に取り組める環境 づくり | 椅子・机等の什器の一部更新 |
| エレベーター (閉架書庫) | 利用者を待たせない迅速なサービス提供 安全に利用できる環境づくり | 閉架書庫用エレベーターの更新 |

2 主なリニューアルの対象エリア

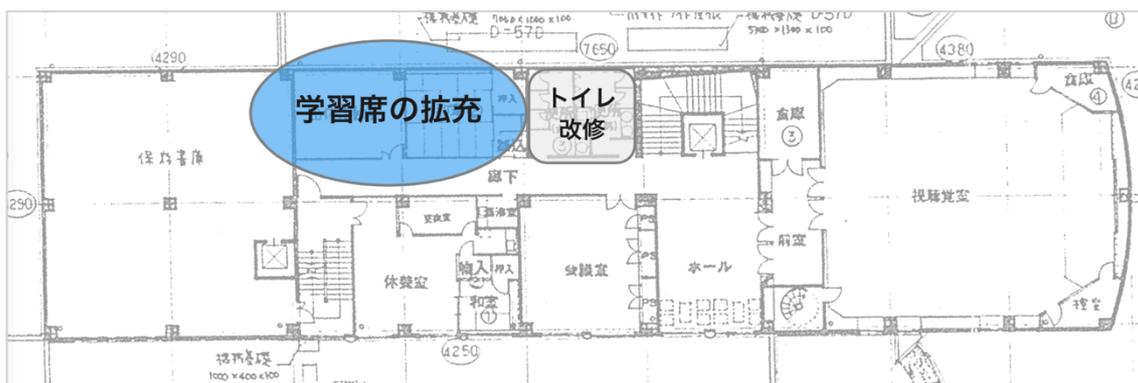
リニューアル項目のうち、主にリニューアル工事の対象となるエリアを示します。

なお、空調設備や照明設備等の施設の基礎インフラにかかる部分は記載を省略しています。

【1階】



【2階】



3 事業スケジュール(案)

基本計画策定後の事業スケジュールは以下のとおりです。なお、中心市街地活性化基本計画を踏まえ、中心市街地エリア内で同時期に整備が進んでいく新市庁舎の第二期工事や「宇部市常盤通りにぎわい交流拠点施設」の状況も踏まえながら進めていきます。

また、リニューアル工事は、市民の図書館利用にできるだけ影響が生じないように、工程等を工夫し効率的に実施します。



4 概算事業費(案)

| 概算総額 |
|-----------------|
| 約 5 億円(設計費用は除く) |

※事業費は、他市類似施設の事例等を参考にしながら設定した設計前の概算額であり、設計における詳細な調査や資材・労務費の価格変動、消費税増税等の社会情勢の変化等により、今後変更になる可能性があります。

第4章 リニューアルの管理運営方針

開館日数・開館時間

市立図書館の開館日数および開館時間は、近隣自治体の中央図書館と比較するとやや高い水準となっています。現状の開館日数・開館時間を維持しながら、図書館を利用していない市民層への働きかけとして、イベント的に夜間の開館時間を延長する等の施策を講じながら、更なる市民のニーズを探ります。

人的資源の適正配置

読書のまちづくりを推進するためには、十分な人員の確保が課題です。限られた人的資源で効率的に図書館運営を進めるため、各種の登録業務や申請業務等の手続きについて、システム化・デジタル化を図ることで、既存業務の時短・省力化に努めます。

職員の育成方針

正規職員と会計年度任用職員が相互に密に連携し、市立図書館としての事業方針や運営方針を評価・検討していく体制づくりを推進します。また、関係各課・文化施設・社会教育施設・教育機関等を横断的に連携する図書館ネットワークの構築のため、職員が関係者や関係団体と積極的につながる機会を提供します。

市民協働の取組

図書館活動を核とする市民との協働を推進し、市民との共創による図書館づくりを目指します。また、定期的な情報共有の場を設定し、市民の様々なニーズに対応します。